

学習課題（小学校3年生）



【国語】計画を立てて少しずつ取り組んでいきましょう。

＜勉強すること＞

◆「こそあど言葉を使いこなそう」（教科書 88 ページ）を学習します。ここでは、何かを指ししめす言葉のはたらきについて学びます。

「この・その・あの・どの」や「これ・それ・あれ・どれ」などの言葉をまとめて、こそあど言葉といいます。

①教科書 88 ページの表から、「こそあど言葉」をどのように使い分けているか読んだあと、表をノートや取組シートに書きうつしましょう。

②教科書 89 ページの 1 に取り組みます。ノートや取組シートに問題文を書きます。こそあど言葉に線を引き、それが何を指しているのかを書きましょう。

《書き方の例》
私は、おばあさんから赤いぼうしをも
らった。次の日、わ
たしはそれをかぶ
って、出かけた。
↓
赤いぼうし

◆90 ページ「引用するとき」を学習します。

他の人の言葉を、自分の文章や話の中で使うことを、引用といいます。

①引用する時には、きまりがあります。教科書 90 ページの①～③を読み、ノートや取組シートに引用のきまりを書きうつしましょう。

②91 ページを読んで、「正しく引用するときの書きとめ方」と、「人から聞いたことを引用するときの書き方」について、大事だと思ったことをノートや取組シートにまとめましょう。

③91 ページ下のだん 8 行目～11 行目のかだいに取り組みます。下の例をさんこうに、ノートや取組シートにしょうかい文を書きましょう。

引用の仕方の例

「こまを楽しむ」を読んで、わたしは、(えらんだこまの名前)にきょうみを持ちました。(えらんだこまの名前)の遊び方は、「(遊び方を書きぬく)」です。
＜使った本＞ 安藤正樹「こまを楽しむ」、10ページ、光村図書、国語三上、2020年

◆111 ページで学習するかん字（植～都まで）をノートに練習します。

例：①156 ページを見て、書きじゅんを指で書いてみましょう。

②読み方・使い方を声に出して、言ってみましょう。

③出てきた漢字をつかって、文を作りましょう。

＜保護者による関わり方のポイント＞※可能な範囲でお願いします。

- ・こそあど言葉を使い分ける際には、自分に近いか、相手に近いかなど、その物との距離で使う言葉が決まることを理解することが大切です。ご家庭にある物などを使って、「話し手に近いから『これ』だね。」などやりとりをしてみると効果的です。



【社会】

＜勉強すること＞「スーパーマーケットのようす」

◆スーパーマーケットのようすについて、教科書72～75 ページや地図帳、学校で使っているしりょうなどをさんこうに、スーパーマーケットのようすについて、ノートやとりくみシートにまとめましょう。

(1) 教科書73～74 ページのイラストを見て答えよう。

①下に書かれているものの中で、売っているものに○、売っていないものに×を入れよう。

() やさい () せんざい () くつ () おかし

②スーパーマーケットではたらく人はどんな仕事をしているかな。
3つ見つけて書いてみよう。

(2) おたにくやぎゅうにく、とりにくは「にく売り場」、魚や貝などは「魚売り場」にまとめてしょうひんをおくことで、どんなよいことがあるかな。

(3) スーパーマーケットで見学するとき、気をつけることについて、の() に入ることばを入れよう。

- ・店の人の仕事や、買い物をしている() のじゃまにならないようにする。
- ・() には手をふれないようにする。
- ・話を聞くときはあいさつをして、終わったら() を言う。

＜保護者による関わり方のポイント＞※可能な範囲でお願いします。

- ・スーパーマーケットでは、商品を売るためにたくさんの工夫をしています。一緒にスーパーマーケットに行き、どんな工夫があるか探してみると、意欲的に取り組むことができます。

①→②のじゅんばんで計算すると、どんなよいところがあるかな？考えて書こう。

※計算がかんたんにできるりゆうを考えてみよう。

どことなくふうができるかを考えてみよう。

あわせて何円でしょうか。

おかしパック 386円

チョコレート 67円

あめ 33円

式を立てて、答えを出そう。

自分の考えとゆきさんの考えをくらべてみよう。



ゆきさん

$$\begin{aligned}67 + 33 &= 100 \\386 + 100 &= 486 \\ \text{答え } &\underline{486 \text{円}}\end{aligned}$$

自分と… 同じ！ ・ ちがう！

○をつけよう。

ゆきさんの考えのよいところはどこかな？考えて書こう。

<保護者による関わり方のポイント>※可能な範囲でお願いします。

◆計算のくふう（教科書 P45・46）

- ・与えられた数を置きかえたり、計算の順序を工夫したりして、「きりのよい数」に着目することが大切です。教科書に示されていない方法で「きりのよい数」を見だし、「こんなやり方でもできるよ！」と見方を広げていたらとても素晴らしいです。

【理科】

<勉強すること>

◆教科書「トンボやバッタを育てよう」（46 ページ）を見て、こん虫の育ち方についてまとめましょう。

○教科書 46 ページのチョウ・バッタ・カブトムシ・セミの育ち方を、下の表を取組シートやノートにかきうつして、書きこみましょう。

	育ち方		育ち方
チョウ		トンボやバッタ	
カブトムシ		セミ	

○上の表をみて、こん虫の育つじゅんについてまとめ、取組シートやノートに書きましょう。

こん虫には、チョウやカブトムシのように（ ）→（ ）→（ ）のじゅんに育つものと、トンボやバッタのように、（ ）→（ ）→（ ）のじゅんに育つものがある。

◆教科書「たしかめよう」（47 ページ）を見て、「トンボやバッタを育てよう」の学習のまとめをしましょう。

※これまでの学習を思いだそう。

<保護者による関わり方のポイント>※可能な範囲でお願いします。

- ・この学習では、昆虫の中には、チョウのようにさなぎになり成虫になるものと、トンボやバッタのようにさなぎにならずに成虫になるものがあることに気付くことを大切にしています。
- ・「トンボやバッタとチョウの育ち方の違いはどこかな。」などと、さなぎになる昆虫とさなぎにならない昆虫の育ち方の違うところに気付けるように声をかけてあげてください。